

手洗い・消毒について

- 会場各所（クラブハウス前、トイレ前、本部前、コート入り口）に消毒液を設置する。
※ 放送、掲示物等にて手洗い、消毒の励行を促す。
- 各試合終了後、審判は審判台を消毒し、交代する。
- 選手は試合終了後に手洗いを行う。（団体戦中、各ペア対戦後、手洗いのためにコートから出ることを認める。）

試合進行について

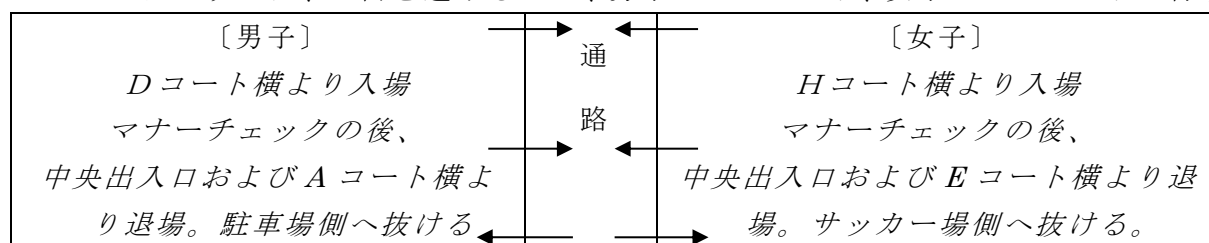
- ベンチの選手は密集・密接を避け、応援は拍手のみ。（十分に間隔をあける）
- 試合前後の握手をさげ、飛沫防止のため、サービスラインでの挨拶をする。
- トスは行わず、審判、サービスの選択はじゃんけんで行う。

応援について

- 選手、顧問以外の入場は禁止とする。（無観客）
- 出場する可能性のある選手は連れてきてよいが、その数は最小限に抑える。ただし、8名までとする。
- 3密を避ける注意喚起の放送を適宜行う。

その他

- 自宅で検温及び健康チェックを行い、体調不良者は出場させない。（応援にも行かない）
- 試合、アップ、審判等以外の選手、役員はマスク着用とする。
- 体調不良者は、ただちに保護者の責任の下、帰宅させる。
- 感染経路を明確にするため、参加校は当日の出席の引率者、選手の名簿提出を義務づける。
- マナーチェックは、3密を避けるため、男子C・Dコート、女子G・Hコートで行う。



- マナーチェック後、優勝盾の返還をCコートでキャプテンのみで行う。役員は必要最小限の参加とする。（会長、専門部長、その他専門部から2名）
- マナーチェック後、キャプテンのみを集め、諸注意を行う。
- 監督者打合せを持って、開会式とする。